

第9回（平成18年度第3回） かごしままちづくり会議会次第

○日時：平成18年10月6日（金）14時00分～
○場所：鹿児島市民福祉プラザ5階中会議室

1 開 会

2 報 告

- (1) 第8回（平成18年度第2回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について
- (2) 第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況について（全市的な事項）
- (3) 第9回（平成18年度第3回）地域まちづくり会議等について

3 協 議

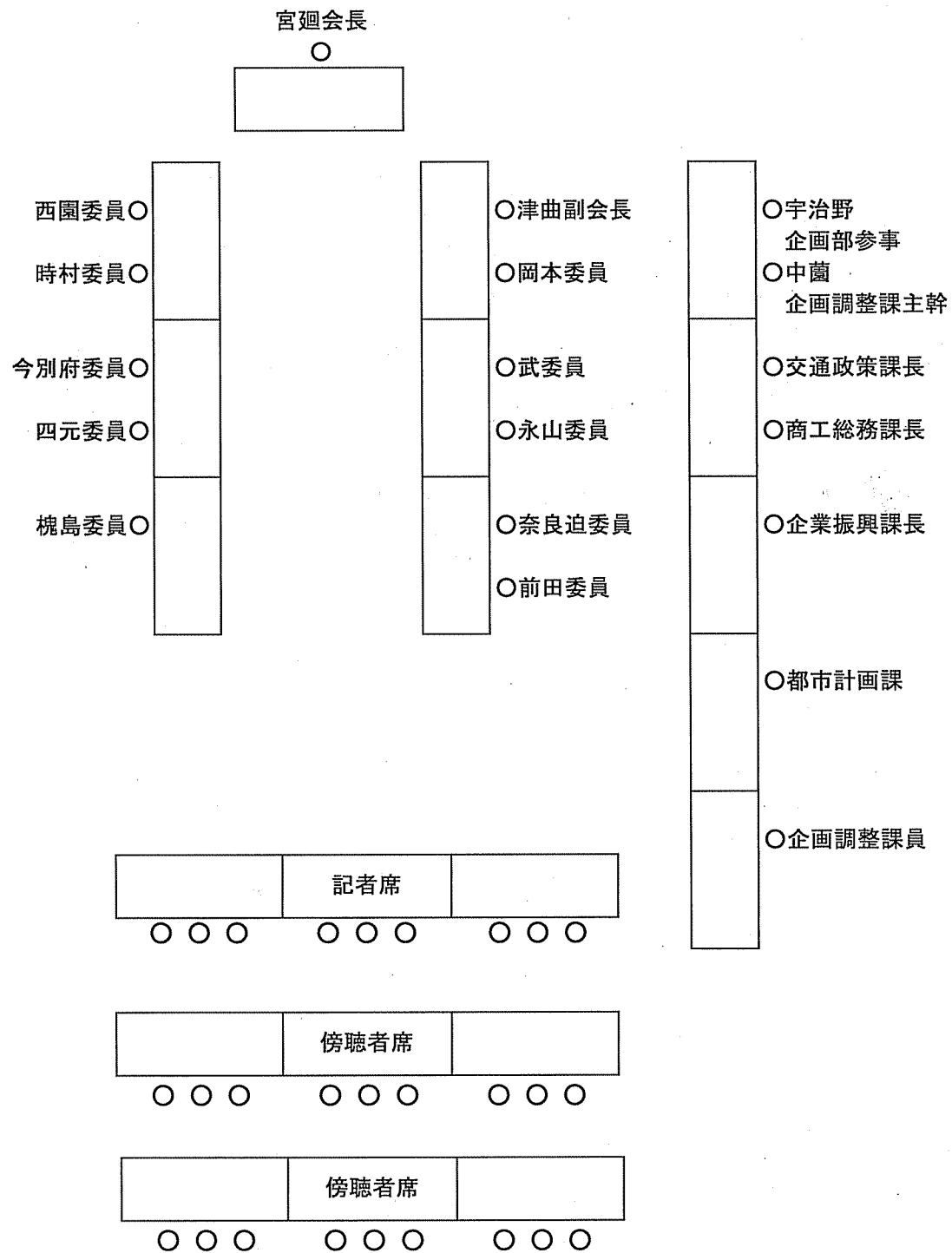
- (1) テーマ協議
 - (主) 商工業、交通ネットワーク
 - (副) 観光・コンベンション、農林水産業
- (2) その他協議

4 かごしま都市マスタープラン見直し素案の骨子について

5 閉 会

第9回（平成18年度第3回） かごしままちづくり会議座席図

○日時：平成18年10月6日（金） 14:00～
○場所：鹿児島市民福祉プラザ5階中会議室



かごしままちづくり会議委員名簿

(平成18年5月23日現在)

職名等	氏名	摘要
鹿児島大学法文学部教授	宮廻甫允	会長
日本ガス株式会社専務取締役	津曲貞利	副会長
吉田地域まちづくり会議会長	西園登	
桜島地域まちづくり会議会長	時村悟	
喜入地域まちづくり会議会長	今別府健司	
松元地域まちづくり会議会長	四元泰盛	
郡山地域まちづくり会議会長	槐島諭	
株式会社山形屋代表取締役会長	岩元純吉	
鹿児島市衛生組織連合会会長	岡本阜八	
鹿児島市生活研究グループ	武千世子	
NPO法人地域サポートよしのねぎぼうず理事長	永山恵子	
鹿児島市教育委員	奈良迫ミチ子	
南日本出版株式会社取締役	西みやび	
公募委員	前田真理	
公募委員	山本敬生	

第9回(平成18年度第3回)かごしままちづくり会議資料

ページ

1. 第8回(平成18年度第2回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況 1~5
2. 第8回(平成18年度第2回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況
(全市的な事項) 6~12
3. 第9回(平成18年度第3回)地域まちづくり会議等について 13~19

かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類： 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
検討状況の分類： 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いものの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	吉野に新しくできる高齢者福祉センターについて、利用者を高齢者に限定せねば柔軟な利用ができるようにならなければ、条例改正も踏まえた弾力的な対応ができないか。	2	健康福祉局	高齢者福祉センターは、高齢者相互のふれあいと交流を図り、生きがいと健康づくりを支援し、そのことによつて高齢者の福祉を増進することを目的とした施設で、国の要綱に基づき設置している。 このようなことから本市では、高齢者専用の施設として位置付け、利用者を高齢者に限定しているので、ご理解いただきたい。 ※新市まちづくり計画／安心健康都市 Vまちづくり計画／安心健康都市	3
2	旧郡山町で行つてした福祉アドバイザーリード制度のような良い制度は、市が取り入れてもいいのではないか。	2	健康福祉局	福祉アドバイザーの行つてした一人暮らし高齢者等に対する声かけ等についてはともしひびグループで対応できると考えているが、自治会等での独自の取り組みについては是非継続しておこなつていただきたい。 今後、保健福祉計画の策定等の参考とさせていただきたい。	1

かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

第8回（平成18年度第2回）

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の 意見分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況 の分類
1	子どもたちの安全対策について、行政の縦割りでいろいろな組織を作り過ぎて地域では重複していることが多すぎると感じる。地域に様々な組織やシステム(例えば「子ども110番」、「スクールガード」、「スクールゾーン委員会」、「安全協議会」、「安全運転管理協議会」など)があるが、やっていることはほとんど同じで、各組織間の横の連携が取りにくい。またボランティアでそのようなことに協力していく中でも、どこに相談すればよいか分からぬのが現状である。これらの組織を統括する組織なり窓口が必要ではないか。	市民局	子どもたちの安全対策については、地域住民と学校、警察などの関係機関、行政がお互いに連携して取り組むことが重要であると考えている。 このようしたことから、防犯・パトロール隊の育成・支援や、公用車に青色回転灯を装備してのパトロールの実施、安心安全研修会の開催など、子どもを含めた地域の安全対策に取り組んでいるところである。 一方、様々な形で子どもたちの安全に関する自主的な活動が拡大することは、大変望ましいことだと考えているが、これら活動が相互に連携する中で、地域が一体となつて安全確保に取り組まれるよう努めてまいりたい。	子どもたちの安全対策については、地域住民と学校、警察などの関係機関、行政がお互いに連携して取り組むことが重要であると考えている。	1
2		教育委員会	子どもたちの安全対策のために、地域住民と学校、警察、行政が、互いに連携して取り組むことは、非常に大切なことだと認識している。 「スクールガード」などのボランティア団体の自主的な活動が、学校や地域の安全のために拡充することには大変望ましいことだと考えている。これらの活動が、関係機関・団体等と連携する中で、地域が一体となつた安全対策に拡充するよう、今後、取り組んでまいりたい。	子どもたちの安全対策のために、地域住民と学校、警察、行政が、互いに連携して取り組むことは、非常に大切なことだと認識している。	2
3					

第8回（平成18年度第2回） かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
4	地方で農業をしたいと考えている退職者に向けて、休耕地の活用をPRしてほしい。	2	経済局	農林水産部内に新規就農相談所を設置し、常時相談に応じていいところである。 また、就農にあたっては農業委員会と連携を図り、休耕地を含めた農地の斡旋に努めてまいりたい。	1
5	耕作放棄地が増加しているので、営農をシステム化して、高齢者だけの農家や後継者がいない農家を支援できないか。	2	経済局	地域ぐるみで農業の維持発展を図る集落営農システムが有効な手段であると考えることから、現在本市では、話し合い活動による情報収集やリーダーの育成に努めるとともに、県単事業の水田農業生産条件整備事業による受託組合への農業機械の導入などによる集落営農の推進を行っている。	1
6	身近すぎてその良さに気付いていない多賀山公園、花尾神社やスパランド裸・楽・良などを見つめ直してピックアップし、観光ツアールートを作れないか。	2	経済局	今後、かごしま観光プログラム作成事業において、地域資源を発掘するとともに、既存の観光資源とあわせて、まち歩きを楽しめる新たな観光プログラム（モデルコース）を作成することとしているので、その中で検討してまいりたい。	2

第8回（平成18年度第2回） かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類： 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
検討状況の分類： 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にしい難いものの、4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
7	鹿児島の玄関口である鹿児島中央駅に、もう少し鹿児島らしさを感じられるシンボル的なものを整備してほしい。	2	経済局	鹿児島中央駅東口駅前広場は、「若き薩摩の群像」を核として、鹿児島から世界へ広がる海をイメージしてデザインされている。また、広場内の植栽は、市木である「クスノキ」をシンボルツリーとして、四季を彩る草花とともに、鹿児島の季節感を演出している。 西口駅前広場には、海に囲まれ、桜島が噴煙を上げる鹿児島の自然をイメージし、力強いエネルギーの炎と、安らぎを与える水をテーマにデザインされ、鹿児島の伝統工芸である薩摩切子をモチーフとした「切子燈」を設置している。 このように、新幹線一部開業に向け、南の交流拠点都市・鹿児島にふさわしい、陸の玄関として整備してきたところである。	3
8	地産地消の推進のため、商品に生産者の表示を行う働きかけをスーパーなどに指導できないか。	2	経済局	生鮮食料品については、JAS法で「名称」と「原産地」表示は義務付けられているが、生産者表示は義務付けられない。現在、青果市場に入荷している市内産軟弱野菜や県内産野菜のうち、通いコンテナを利用しているものについては、カードによる生産者名等の表示が行われ、スーパー等で活用されている。今後、関係団体等とも連携をとりながら、通いコンテナの利用推進を関係業界へ働きかけてまいりたい。	5

第8回（平成18年度第2回） かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類： 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類： 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いものの、
 4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
9	観光客が鹿児島に到着した後に選べるオプショナルツアーの一 ようなメニューが乏しいので、グリーン・ツーリズム的なものを作 り込め、民間とバッティングしない形の鹿児島の特徴をうまく盛 り込んだツアーをコーディネートして、場所や情報の提供をするべきではないか。	2	経済局	本年度、地域のグリーン・ツーリズムの資源や施設を紹介 するグリーン・ツーリズムマップやホームページを作成し、 広く紹介することとしている。 また本年度、かごしま観光プログラム作成事業において、 地域資源を発掘するとともに、既存の観光資源とあわせ て、まち歩きを楽しめる新たな観光プログラムを作成し、 情報発信していくこととしている。	2
10	グリーン・ツーリズムの受け入れる側の地域で、都市部の住 民を受け入れるためにノハハワを伝授するなどの支援を行 い、受け入れる環境・体制を整備してほしい。	2	経済局	本年度から地域の特性を生かしたグリーン・ツーリズムを 推進するたために、地域推進リーダーを育成するための研 修会等を開催していくこととしている。	1
11	市外の方から見た鹿児島観光のメインは歴史と自然ではな いか。合併により自然財産も増えたのだから、自然を全体的に 捉えた形で観光につなげてほしい。城山についてももっと あたたかみのある感じで整備して、桜島の眺望との一体的な 観光化を図ってほしい。	2	経済局	歴史ロード“維新ふるさとの道”整備事業では、多くの偉人 の誕生地である加治屋町に隣接する甲突川左岸緑地及び その周辺を、観光客ががら散策できるよう な空間として整備を行っていく。 また、城山については、屋だけではなく夜景スポットとしてシ ティビューの夜景コースを紹介するとともに、街灯の整備 を実施しているところである。	1

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いものの、4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	吉田	台風時は、住民の申し出で避難所を設置するようになつていて、行政が早めに設置し、避難指示を住民へ出してほしい。	2	市民局	自主避難をされる場合には、事前に市へ連絡していただいていますが、行政の判断で避難準備、避難勧告及び避難指示等の広報を実施する際には、それに合わせて市指定の避難所を開設している。 なお、自主避難される際には、おおむね1時間程前に地域福祉課へご連絡下さるよう、ご協力をお願いしたい。	1
2	吉田	お達者クラブの弁当代が200円から400円に値上がりすると聞いています。急激な値上げはお年寄りには負担が大きい。	2	健康福祉局	介護保険制度の改正に伴い現在介護保険のデイサービス等の利用者は食材費と調理費の実費を負担しているが、愛のふれあい会食の弁当もデイサービス等の利用者と同じものを提供しながら負担は200円となっている。このようなことから介護保険制度にあわせて実費相当の400円を負担していただくこととした。	3
3	吉田	高齢者福祉バスがあるが、希望者が多く利用できない。台数は増やせないものか。	2	健康福祉局	高齢者福祉バスは合併前は1台であったが、現在は旧郡山町及び旧喜入町の2台のバスと旧鹿児島市分と合わせて3台を利用していくだしている。利用は抽選により決定しているが、利用申込のない日については随時申し込みにより利用が可能であるので、利用状況について問い合わせていきたい。	3

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いものの、4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
4	吉田	産業廃棄物処分場は、許可時点における状況と現況が違っているところはないものか。雨天時など汚水が流出する所などないものか。現地調査を行って指導を徹底してもらいたい。	2	環境局	産業廃棄物処分場については、随時の立入調査を行い、廃棄物処理法に基づいた施設の稼動状況及びマニフェスト交付状況、帳簿等の検査を実施しているところである。また、雨天時に汚水の流失がないように指導しているところであり、今後も施設への立入調査を行い指導を行っていきたい。	1
5	桜島	地域資源を活用するために一番重要なのは人材だと考える。案内する人、ボランティアを集めることでイネーラー、企画をする人など、人の活用や育成を鹿児島市も推進してほしい。NPO法人桜島ミュージアムとしても、人材の育成に力を入れていきたい。	2	経済局	桜島觀光振興プランの中で検討してまいりたい。	2

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等[にそい難いもの、4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
6	道路路肩や公園など犬の糞の放置状態が多く、飼い主のマナーについて、何らかの新しい対策等で啓発する必要がある。	健康福祉局	ふんの放置等の防止については、従来より、狂犬病予防注射時に犬のしつけ、飼い方用リーフレットの配布、「市民のひろば」等の広報紙、ホームページへ啓発文の掲載・広報車による広報・犬のしつけ、飼い方教室の開催・町内会等への啓発チラシの配布・ふん放置禁止の看板の配布・苦情が寄せられたときの飼い主への直接指導等を行い、犬の飼養者のマナーやモラルの向上を図つてい、等を行なう。今後もあらゆる機会を捉えて、飼い犬のふんの適正処理等の指導、啓発を行ない、飼養上のマナーやモラルの向上を図つてまいりたい。	1		
2	松元	環境局	飼い犬のふんの放置等の防止については、現在、まち美化推進指導員により市内全域における巡回パトロールを週4日(土日含む)実施し、指導にあたっている。 また、昨年8月よりポイ捨てや飼い犬のふんの放置多発地区について、市内の全町内会を対象に一齊調査を実施し、調査結果を基に指導員を現場に派遣し、調査指導を行つている。手などに指導員に基づき、「自分たちのまちは自分たちの手で美しくしたい」と自発的に考えておられる市民の皆さんを地域指導員に任命し、行政と連携しながら地域で条例違反者などに対する指導業務を行う「まち美化地域指導員」制度の創設などを今年度中に予定している。	1		

第8回(平成18年度第2回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いものの、4 市の所管に属さないものの、5 その他

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いものの、
 4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
8	郡山	福祉アドバイザー制度（＝独居老人の見守り活動）についての要望に対し、市は「どちらが、どちらで対応可」との見解を示しているようである。旧郡山町にあつた制度は、自治会単位で活動がなされ、非常にうまく地域内の一部自治会が継続し思っている。合併以降も地域内自治会市全域に広め取組んでいる同制度を鹿児島市作る際には是非、参考にしていたいたい。	2	健康福祉局	福祉アドバイザーの行っていた一人暮らし高齢者等に対する福声かけ等についてはともしひグループで対応できると考えているが、自治会等での独自の取り組みについて是非継続しておこなっていただきたい。なおお保健福祉計画については是非3月に20年度までの計画を策定したところがあるので次回の計画策定の際にご意見をいただきたい。 ※合併協定項目 (27)高齢者福祉事業／22心をつなぐともしひグループ活動推進事業 合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度に統合する。合併する年度は現行どおりとする。	3

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）、
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いものの、
 4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
9	郡山	子どもたちの安全対策について、行政の縦割りでいるところが多くなる組織を作り過ぎて地域では重複しているやシス템（例えば「子ども110番」、「スクールガード」、「スクールゾーン委員会」など）、「安全管理協議会」、「安全運転協議会」と同じで、各組織間での横の連携が取りにくく、またボランティアでそのようなことを協力していきたいのが窓口である。これらの組織を統括する組織なり窓口が必要ではないか。	1 子どもたちの安全対策には重複しているやシス템（例えば「子ども110番」、「スクールガード」、「スクールゾーン委員会」など）、「安全管理協議会」、「安全運転協議会」と同じで、各組織間での横の連携が取りにくく、またボランティアでそのようなことを協力していきたいのが窓口である。これらの組織を統括する組織なり窓口が必要ではないか。	市民局	子どもたちの安全対策につきましては、地域住民と学校、警察などとの関係機関、行政がお互いに連携して取り組むことが重要であると考えている。 本市といたしましても、防犯パトロール隊の育成・支援や、公用車に青色回転灯を装備してのパトロールの実施、安心安全研修会の開催など、県警や学校などと連携を図りながら子どもたちの安全対策に取り組んでいます。 一方、様々な形で子どもたちの安全に関する自主的な活動が大変な形であります。これららの活動が拡大することには、大変望ましいことと考えていますが、これらの活動が相互に連携する中で、地域が一体となって安全確保に取り組まれるよう努めてまいりたい。	1 子どもたちの安全対策につきましては、地域住民と学校、警察などとの関係機関、行政がお互いに連携して取り組むことは、非常に大切なことだと認識している。 「スクールガード」などのボランティア団体の自主的な活動が、学校や地域の安全のために拡充することには大変望ましいことだと考えている。これらの活動が、関係機関・団体等と連携する中で、地域が一体となつた安全対策に拡充するよう、今後、取り組んでまいりたい。
2				教育委員会		2

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）、4 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いものの、4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
10	郡山	自治会活動について、各面からの情報提供や助言を含めた研修会等の機会を設けていただきたい。また、自治会での取り組みや成功・先進事例の紹介など情報提供していただきたい。	2	市民局	市では、町内会役員等を対象に関係課による各種補助事業の説明等を行う「コミュニケーション研修会」、人材育成を目的とした「コミュニケーション活動推進講座」の他、町内会活動の実例や課題・問題点等をお互いに意見交換する「コミュニケーション交流会」等を開催し、コミュニケーション活動に関する情報提供等を行っているところである。今後とも機会を捉え、情報提供に努めてまいりたい。	1
11	郡山	「不用品譲ります。譲ってください。」といったような掲示ボードを校区公民館など人の集まる公共的な場所に設置できないか。	2	市民局	消費生活センターでは、「テレフォンバンザー」(電話による不用品の情報提供)を行っている。不用品を「譲ります。」「求めます。」といった情報を登録し、お互いで不用品の譲渡をしていただき、資源の再利用を促すものである。	1
12	郡山	国が集落営農の政策を打ち出しているが、面積規模等の認可要件に当てはまらないものに対応する市独自の施策をお願いできなかか。	2	経済局	話し合い活動による情報収集やリーダーの育成に努めると共に、県単事業の水田生産条件整備事業による受託組合への農業機械の導入など、集落営農の推進を図っている。	1

平成18年度第3回地域まちづくり會議概要

平成18年度第3回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
4	側溝の蓋を数年前から要望しても、いままだ非実現に異常に進まない地区や道路は今後も継続して推進してほしい。生活道路の未整備部分には困る予算については、今後も獲得願いしたい。	桜島は陸上災害などの厳しい環境にあって新しい事業のつくることを地域の人々は今後も継続して推進してほしい。具体的には、温泉やレストラン等と連携を図りグループをつくり、訪問者に對し地域内の施設等の利用を促すことが考えられる。	ダーリーン・ツーリズムは、お金をかけて新しいものつくることを地域の人々は今後も継続してほしい。具体的には、温泉やレストラン等と連携を図りグループをつくり、訪問者に對し地域内の施設等の利用を促すことなどが考えられる。	四元地区の処理業者に多くの産業廃棄物は搬入されるのを見るのは、周辺の水質に影響はないものか。	郡山地域の各消防分団は団員の確保に苦慮しておらず、分遣隊も設置されたことなどは嬉しいが、たまたまいいのではないか。
5	吉田地区の民生委員は他の旧4町に比べて委員会が広い。同じく民生委員協議会内で調査の増員を図っていただきたい。	通行の支障となる公道にせり出した樹木、漁港木などが問題な木の伐採をしてある木等が、それを収拾する非常地を用いて、農場跡地を整地して、伐採した樹木や収拾した流木等によりサクル施設として活用していく。また、農場ビニール等の管理にかかる手助けをしてほしい。	松元ダムに遊歩道を整備することは、今後、ダム湖周辺するようなるが、ダムの水質が劣化しないように配慮の整備を行うとともに、視光面の効果にもつながるよう活用策を考えていきたい。	松元ダムに遊歩道を整備することは、今後、ダム湖周辺するようなるが、ダムの水質が劣化しないよう、周辺道路の整備を行うとともに、視光面の効果にもつながるよう活用策を考えていきたい。	屋内運動場については、今後、ダム湖周辺するようなるが、その時期には市長も明言されていないよう未定である。郡山総合運動場の機能を十分に活用するために、是非、早期の整備を応じてほしい。
6	訪問給食は、利用できる要件が旧町時代に比べて厳しいので条件の緩和はできないか。旧町時代は要綱書に民生委員の同意があれば利用できた。	赤水漁港の整備については、赤水漁協が作った昭和38年に現在、漁港長谷村に整備したので、出荷施設などを進めて漁港機能を満たす施設を長谷港に整備してほしい。	農業後継者の若い人たちが、今後、本当松陽台に建て替えて、その跡地を市営住宅で生計を立てていけないか。農業後継者の若い人は、アグリタウンの水の使用料のこと、あるが、大量の水を伸ばしていきたいが、少しお手助けをする必要があると思う。	農業後継者の若い人たちが、今後、本当松陽台に建て替えて、その跡地を市営住宅で生計を立てていけないか。農業後継者の若い人は、アグリタウンの水の使用料のこと、あるが、大量の水を伸ばしていきたいが、少しお手助けをする必要があると思う。	

平成18年度第3回地域まちづくり会議概要

平成18年度第3回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議		喜入地域まちづくり会議		郡山地域まちづくり会議	
		消費施設であるなぎさ淮歩道沿いに4ヶ所位の非常口であります。利用者が非常に多くなると非常に見苦しいので、毎回参りでできましたが、合併後、2週間に1回しか行けなくなりました。利用者がいに毎回つくこと生きがいにしてほしい。	消費施設から見た場合、食の安心・安全が大事なことであるとて、機械的であります。市民が車両が設置され歩道がある。用意交渉などは、車両が車両が運転するかと思うが、高齢者や自転車通学などに危険が及ぼすことがあります。是非提供をお願いしたい。	松元地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議
11	テイサービスは旧町時代、週に1回参考できましたが、合併後、2週間に1回しか行けなくなりました。利用者がいに毎回つくこと生きがいにしてほしい。	桜島地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議
12	吉田福祉センターにある温泉施設は壊れて2年以上経過している。湯浴場をよく、温泉水を修理してもらいたい。	桜島地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
13	在宅介護支援センターが包摂センターにないといふ相談に乗ったので、相談窓口は現在のままでございまして、高齢者がいつまでも安心して暮らしていただきたい。	桜島地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
14	生きがい対応型デイサービスは、お運び者カラブに制度が切り替わることから新規の申込みができない。これからも今までの制度を継続していただきたい。	桜島地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議

平成18年度第3回地域まちづくり会議概要

平成18年度第3回地域まちづくり会議概要

区 分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
19	小・中学校では毎年2回ほど、P.T.A.と学校職員、児童生徒で学校美化奉仕作業を行つているが予算や人手が限られるため実施できない。継続のあるところを保つために何をどのようにして確保していただきたい。				「市長と直接地域に出て会話をうなづかなければなりませんが、市長の語彙は豊富で、その表現力は抜群です。そこで、市長が出ては所轄の状況を実施をなものに三合併市長と話し合いたい」と述べた。その後は「…」といつた。西野氏も「町時代には地元の会合には出でていたが、その後は…」といふ。
20	吉田小学校の新築移転が平成20年度開校に向け工事が進められており、地域住民は、吉田北中学校の位置についての意見を聞くべきで、検討していただきたい。				自治会活動等のために住民情報の提供を求める人が、隣接地域などといふ人には地域活動の基本を教える。それが成り立たない限り得る情報ではないか。
21	吉田小学校の跡地は、地区の中心部にあり地域住民は深い関心を寄せたい。地域住民の声を聞く機会を設けていただきたい。				独自に消防分団に対して助成を行つている自治会もあるが、回員確保のためにも各自治会連合で検討していくべきである。
22					郡山地域の子どもたちでも、なかなか農業を体験する機会は少ない。昨年は学習の一環で、「八重の里」に行つた。都市部の小学生は、収穫を手で運ぶ作物が非常に有意義なことだと思う。

平成18年度第3回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
23	平成5年災害では被事箇所を行政方に復旧してもらつたが、豪雨や台風の後に復旧など復旧現場も見てみたい。				自分が農業大学校時代に農家で実習を受けた経験を踏まえて、市内の子を実習を受け入れることで、必ずしも郡山地域の受け皿が十分でない面があると思ふ。一番困るのは、トイなし、おおいにやりたい。交流は大事だし、お互いにやるべき課題はあるが、そういう解決する。
24					地域でも伝統や文化に対する熱意や関心が薄れつつあり、これらが大らしさや次代に伝える必要がある。郷土芸能保存について、どの団体も後継者の運営から文化財指定の団体に補助金が出てこども嬉しいことである。
25					郡山地域の自然、歴史、文化等の地域資源の素晴らしさをまちづくり住民自身が再認識する必要があるのではないか。
26					郡山健康交流促進財団は、スバルド裸泳を管理するため作られた財団である場合、一律に指定管理者制度を導入する必要はないのか。